



学びのアップデート

Learning Updates



- **これからの時代に向けたデジタル活用** ～学習モデルの紹介～
- **GIGA端末活用の優良事例** ～子供の健全育成のために～
- **夏季休業中に学んでみませんか**

文化庁主催 学校向け著作権講習会の紹介

(ICT支援員、デジタルサポーターの皆様も参加できます)

Society5.0に向けた学習方法研究事業報告書を公開しました。

皆さんの学校では、

- ・学習者用端末や、学習支援クラウドサービスの利活用は進んでいますか？
- ・単に、授業で端末を使っているだけになっていませんか？

ICTの活用により、「知識習得型」から「価値創造・課題解決型」の学びへと**学習スタイルを転換**するための参考に御活用ください！



「Society5.0に向けた学習方法研究校」で蓄積した多数の活用事例を紹介しています。

https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_rule.html

ICTを活用した学習モデルを「学習場面」、「資質・能力」、「ICTの活用」で整理・類型化して掲載

学習モデルを使用する場面を導入・展開・まとめ、で分類しさらに細分化した学習場面ごとに表にまとめた。

	学習場面	育成する資質・能力
導入	●課題の設定・把握	
	学びに向かう力、人間性など	知識及び技能
	<p>導-01 授業の前に教員が学習内容を配信し、生徒は家庭等で配信された内容を確認する。 [思考の可視化]</p>	<p>導-02 授業の前に教員が学習動画を配信し、生徒は家庭等で理解できるまで、動画を視聴する。 [思考の共有化] [試行の繰り返し]</p>
	<p>導-03 授業の前に教員が学習動画を配信し、生徒は家庭等で自分のできるところやできないところを理解する。 [思考の共有化] [試行の繰り返し]</p>	
事前の理解度把握	<p>導-04 教員は生徒の理解度を確認するテストを配信し、生徒がテストを受け、教員は生徒の理解度を把握して授業を行う。 [思考の共有化]</p>	

	知識・技能の習得	課題に取り組む
知識・技能の習得	<p>展-01 生徒は自身の活動の様子を撮影して視覚化した画像・動画を撮影することで、自身の課題を把握する。 [思考の可視化]</p> <p>展-02 教員が授業の資料を共有し、生徒は演習の際に資料を確認する。 [思考の可視化] [思考の共有化]</p>	<p>展-03 生徒はチャット機能で質問を入力し、教員が回答を入力することで、生徒は疑問と回答を共有する。 [思考の可視化] [思考の共有化]</p> <p>展-04 教員がドリル型テストを作成し、生徒は到達目標に達するまでテストを受ける。 [試行の繰り返し]</p>
	<p>展-05 教員が配信した動画や音声データを基に、生徒は練習を行う。 [思考の共有化] [試行の繰り返し]</p> <p>展-06 生徒のノートなどを撮影し、その画像を共有し、解説を行う。 [思考の共有化]</p>	<p>展-07 生徒はインターネット等で検索を行う。</p> <p>展-08 生徒は情報の信ぴょう性の確認など情報を精査する。</p>
課題に取り組む	<p>展-09 生徒はデータをグラフにしたり、試行やシミュレーションしたりして課題解決を行う。 [思考の可視化] [試行の繰り返し]</p>	<p>展-10 生徒は自分の意見や考えを整理する。 [思考の可視化]</p>

資質・能力を育成する33個の学習モデルを**インデックス**化しました。

それぞれの学習モデルの詳細を別途掲載しています。

学習モデルの具体的な活用方法を掲載しています。

学習モデル例

CHAPTER 3「学習モデル一覧」

● 課題の設定・把握

<p>導-01 授業の前に教員が予習内容を配信し、生徒は家庭等で配信された内容を確認する。</p> <p>同時の共有化</p>	<p>導-02 授業の前に教員が予習内容を配信し、生徒は家庭等で配信された内容を確認する。</p> <p>同時の共有化</p>	<p>導-03 授業の前に教員が予習内容を配信し、生徒は家庭等で自分のできるところやできないところを理解する。</p> <p>同時の共有化 (録音の繰り返し)</p>
---	---	---

インデックス化した学習モデル

CHAPTER 4「学習モデルごとに使用するOffice365の機能」

導-01 <課題の設定・把握>家庭での学習(予習)

授業の前に教員が予習内容を配信し、生徒は家庭等で配信された内容を確認する。

CHAPTER 3「学習モデル一覧」で示した学習モデル

Office365の機能例

- Teams 投稿
- Teams ファイル共有
- Class Notebook
- Stream

Office365の各機能の利用手順

学びに向かう力、人間性など

実践の社会性、主体的な学び、生活で生きて働く知識及び思考力、判断力、表現力など

機能1 Teams投稿 同時の共有化

教員が投稿した予習内容を、生徒は場所を問わず確認することができる。

投稿したいチャンネルを開く。 → 予習内容を投稿する。 → 生徒は予習内容を確認する。

学習モデルとともに、各ツールの具体的な使用法を掲載しています。

学習モデルを組み合わせた単元計画例

画像・動画を活用して単元を通して技能を向上につなげる

- 学年：中学2年
- 教科/科目：保健体育/体育
- 単元名：器械運動(マット運動)
- 単元の目標：運動の楽しさや喜びを味わい、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間のかえたことを他者に伝える。協働の経験を通して、自己の最善を尽くして運動する。
- 育成する資質・能力：技能の習得及び向上、課題解決能力、表現力

◆ 単元計画と学習モデル

<p>導-02 家庭での学習(予習)</p> <p>授業の前に教員が予習動画を配信し、生徒は家庭等で理解できるまで、動画を視聴する。</p>	<p>展-01 技能習得</p> <p>生徒は自身の活動の様子を撮影して視覚化した画像・動画を確認することで、自身の課題を把握する。</p>	<p>ま-03 振り返り</p> <p>生徒は練習前後の自身の画像・動画を比較し、自身の取組が有効であったかを確認する。</p>
---	---	---

具体的な単元計画例を、学習モデルとともに掲載しています。

ここでは、三つの学習モデルが使われています。

時間	主な学習活動	ICTの活用場面
第1時	導入 模範動画を事前に共有し、基本的な技能について理解する。	● 導-02 模範動画を共有する(Teams)
第2時	グループ練習、個人課題の把握 自己の技を撮影し、画像・動画を見て分析する。各自の分析結果を共有し、アドバイスしあう。	● 展-01 画像や動画を撮影し、自己の技を分析して課題を共有する(Teams)
第3時	グループ練習 ブレ発表を行う。	
第4時	グループ練習 自己の技を撮影し、画像・動画で分析する。各自の分析結果を共有し、アドバイスしあう。	
第5時	発表、単元の振り返り 練習前後の自己の画像・動画を比較し、取り組みが有効であったかを確認する。	● 展-03 まとめのレポートを作成し単元の振り返りを行う(PowerPoint)

◆ 成果

<p>導-02 家庭での学習(予習)</p> <p>模範動画を事前に共有し、理解を深めることで、学習への意欲が高まった。また、単元を通して繰り返し視聴することができ、技能が向上した。</p>	<p>展-01 技能習得</p> <p>自己の動画と模範動画を比較することで、的確に自己の課題を把握することができた。画像を用いることで、課題が具体化し、教え合うことで表現力が高まり、技能が向上した。</p>	<p>ま-03 振り返り</p> <p>画像を用いたレポートを作成することで、自己の成長を実感でき、学習への意欲が向上した。また、課題解決能力や表現力に関する個人の取り組みを教員が把握しやすくなった。</p>
--	---	---

各学習モデルを使用したことの成果(教育効果)を掲載しています。

渋谷区 GIGA端末を活用したネット相談窓口

渋谷区では、GIGA端末を活用したネット相談窓口を運営しています。

デスクトップの「そくだん」アイコンをクリックすると、相談窓口一覧が表示され、さらにハートマークをクリックすると相談フォームが表示されます。



GIGA端末のデスクトップに表示されている「そくだん」アイコン

相談フォーム

相談（そくだん）フォーム

こんにちは、このフォームを送信すると、所有者に名前とメールアドレスが表示されます。

- 学校名（がっこうめい）
回答を入力してください
- 学年（がくねん）
回答を入力してください
- 名前（なまえ）
回答を入力してください
- 相談内容（そくだんないよう）
回答を入力してください
- 学校の先生に相談したいですか？
 はい
- スクールカウンセラーに相談したいですか？
 はい

相談フォームから届いた相談は、教育委員会が確認し、必要に応じて学校等と連携しています。

相談したい児童・生徒が、先生に言いづらいことも、夜間や休日も含め、相談できるようになりました。

相談窓口一覧

不安や悩みがあるときは… 一人で悩まず、相談しよう

令和4年4月版

渋谷区教育委員会・教育センター

①電話相談（いじめ110番）
03-3463-3798

②タブレットからの相談
このアイコンをクリック（入力画面が開きます。）

③身近にいる信頼できる大人に相談
家族や先生など、自分が話やすい人に相談しましょう。

24時間子供SOSダイヤル
いじめの加害者や他の子供に関する相談全般
24時間対応 0120-0-78310

よいこに電話相談
学校、子育て等、子供に関する相談全般
03-3366-4152

話してみなよ 東京子供ネット
いじめ、体罰、虐待等の子供の危機に関する相談
0120-874-374

考えよう！いじめ・SNS@Tokyo
いじめ防止とSNSの適切な利用に役立つウェブサイト・アプリ
◆この空欄チェックアプリを使って、東京朝いじめ相談ホットラインに電話ができます。

こたエール
ネット・ケータイのトラブル相談
電話相談 0120-1-78302

ヤング・テレホン・コーナー
※注、いじめ、体罰、虐待に関する相談
24時間対応 03-3580-4970

こころの電話相談室
子供の行動や心の発達等に関する相談
042-312-8119

こころの電話相談
心の健康に関する相談
平日9:00～17:00（土・日・祝日、年末年始を除く）

学校問題解決サポートセンター
児童者向け相談窓口
03-3360-4195

クリック

■ 墨田区 GIGA端末を活用した相談や健康観察

墨田区では、**GIGA端末**で子どもたちが毎日のところとからだの状態を記録できるWEB健康観察システム「シャボテンログ」と、匿名で報告や相談ができるアプリ「STANDBY」を導入しています。

WEB健康観察システム「シャボテンログ」

「シャボテンログ」は、児童・生徒が毎日ところとからだの状態を記録することで「気づき」や「変化」を見える化するWEBシステムです。

心身の健康状態が記録として残るので、教員が子供の状態の変化を確認することができます。

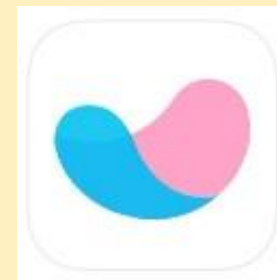
朝の活動に「シャボテンログ」を取り入れた学校の様子

短時間で入力できるので、朝の支度が終わった生徒から入力するのが日課になっています。

8時15分には着席しよう
朝読書
シャボテン健康カード



「話したいボタン」で、担任・養護教諭・スクールカウンセラーなど、自分にとって話しやすい相手を選択し、相談することもできます。

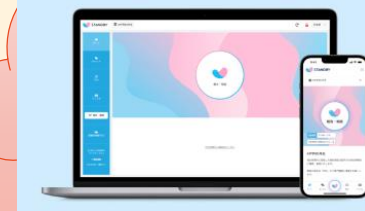


GIGA端末のデスクトップに表示されている「STANDBY」アイコン

匿名報告・相談プラットフォーム「STANDBY」

「STANDBY」アプリは、児童・生徒が悩んでいる時にGIGA端末から、専門の相談員に匿名で報告・相談することができます。匿名で報告・相談できるため電話やメールよりもハードルが低く、いじめ等の問題を早期発見、早期対応できます。

困ったときにいつでも相談できるので安心



報告・相談内容には画像や動画も添付できます。

令和4年度教職員・情報通信技術支援員（ICT支援員）著作権講習会 ～教育機関における著作物利用と知財教育～

近年、SNS等のソーシャルメディアが発達・普及した反面、**児童・生徒による著作権侵害事例**も生じています。
そこで、文化庁では全ての教育関係者が著作権に関する正しい知識を身に付けるように本講習会を開催します。
夏季休業中に**著作権の大切さ**や「**知財教育**」の**推進**について、学んでみませんか。



内容

授業目的公衆送信補償金制度の現状と留意点

一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会
(SARTRAS) 理事 野方 英樹 氏

知財創造教育の実践 ～インターネット上の海賊版被害の現状を踏まえて～

東京学芸大こども未来研究所 教育支援フェロー 原口 直 氏
集英社 編集総務部 部長代理
一般社団法人ABJ 広報部会長 兼 法務部会長 伊東 敦 氏

チラシ

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seminar/2022/pdf/93728901_01.pdf

日程・申込

日時：令和4年8月25日（木）13:00～15:50

方式：YouTubeLive配信（限定公開・受講料無料）

申込期限：令和4年7月8日（金）～8月8日（月）まで

※後日、10月31日（月）までオンデマンド配信（予定）

今年度から、ICT支援員（小・中学校など）やデジタルサポーター（都立学校）の皆様にも対象を広げ開催します！



QRコードまたは文化庁HPの掲載の申込フォームより御応募ください。

学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも後日掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第12号 令和4年7月28日発行 東京都教育庁総務部教育政策課